

火山防災対策会議（第15回）

議事要旨

1. 日時

令和4年9月5日（月）15:00～17:00

2. 出席者

森田座長、市原、大野、阪本、清水、田中、三浦、安井、榊、奈須野（代理：東出）、田辺（代理：野村）、千原（代理：小林）、三上（代理：國友）、大木、野村、藤田（雅）、川村、藤田（英）、伊藤、石井 各委員他

3. 議題

- （1）最近の火山防災対策の取組状況
- （2）火山防災対策関係の令和5年度概算要求について
- （3）火山防災に係る調査企画委員会からの報告
「観測」に資する施策・研究の方向性

4. 議事要旨

- 各委員及び事務局（内閣府）から、最近の火山防災対策の取組状況等について説明し、情報共有を図るとともに、事務局（内閣府）から「御嶽山噴火を踏まえた今後の火山防災対策の推進について（報告）」において示された実施すべき取組の状況について説明し、意見交換を行った。
- 各行政委員及び事務局（内閣府）から、令和5年度概算要求内容について説明し、情報共有を図るとともに、火山防災に係る調査企画委員会の西村座長から、同委員会における関係機関の令和5年度概算要求における施策・研究の連携のための取組結果について説明があった。事前に各委員から出された意見等に対する各行政委員及び事務局からの説明等も加え、意見交換を行った。
- 火山防災に係る調査企画委員会の西村座長から、「観測」に資する施策・研究の方向性について報告し、意見交換を行った。
- 各委員より頂いた主なご意見は下記のとおり。

<最近の火山防災対策の取組状況について>

- 噴火の評価を行う研究機関と防災を担う行政等関係機関との連携のあり方を検討していくことが重要。

<火山防災対策関係の令和5年度概算要求について>

- 避難促進施設の避難確保計画や火山避難計画について、手引きの周知等を工夫して、進捗させていくことが重要。
- 大規模噴火時の調査観測体制や情報の発信について検討していくことが重要。

<火山防災に係る調査企画委員会からの報告について>

- 当面の防災に必要な観測だけでなく、将来の防災に必要な基礎的な研究に資する観測も重要であることについて、示していくことが必要。
- 火山防災の高度化のためには、火山研究の推進、それを構成する個々の研究が大事である。それらが調和して推進されるためには、噴火時の機動観測がうまくいくように事前の調整を進めておくことが重要。
- 観測を通じて得た火山活動の推移やハザード予測等の情報の流れや共有方法、対策への活用方法、体制等について整理しておくことが重要。

以 上